

Frontliner

[フロントライナー]

株式会社 日本保健衛生協会
サニタリーグループ
発行責任者/サニタリーG

スタッフの皆さん、日々の業務にご尽力いただきありがとうございます。

10月15日は、国際衛生年の2008年に、ユニセフ(国連児童基金)など水と衛生の問題に取り組む国際機関や大学、企業などによって定められた「世界手洗いの日(Global Handwashing Day)」です。病気の原因となるウイルスや細菌から身を守るために、子どもたちが自分でできる最もシンプルで効果的な習慣である手洗い。新型コロナウイルス感染症(COVID-19)のパンデミック状態時には、正しい手洗い習慣が一層重要になりました。

先進国と後発開発途上国との格差

世界人口の40%(およそ30億人)が、石けんと水で手を洗う設備が自宅にありません。

多くの先進国では、ほとんどすべての人が手洗い設備を利用できる一方で、後発開発途上国ではその割合が28%に留まり、わずか1%という国もあるなど、手洗い設備へのアクセスには大きな格差があります。

世界の43%の学校には、石けんと水で手を洗う設備がなく8億1,800万人の学齢期の子どもたちが学校で手を洗うことができません。

正しい手洗いによって下痢性疾患を30-48%減らすことができ、正しい手洗いによって急性呼吸器感染症を最大23%減らすことができます。

日常的に正しい手洗いを励行することでCOVID-19感染の可能性を36%減らすことができるといわれています。



正しい手洗い

汚れやばい菌(病気の原因となるウイルスや細菌)は手のあちこちにつきます。手の中で溝やくぼみのあるところ物によく触れるところをしっかりと洗うことが大切です。手洗いで洗わなくてはならないのは、次の6カ所です
手のひら つめ 親指の付け根 手の甲 指と指の間 手首
洗わなくてはならないすべての部位を正しくしっかりと洗うには約20秒かかると言われています。右のイラストを参考に入念に洗うように心がけて下さい！



手のひら



つめ



親指の付け根



手の甲



指と指の間



手首

トイレ清掃について 保存版

みなさんは日頃、さまざまな現場でトイレ清掃をされていると思いますが、トイレは日常清掃の中で最も重要視される場所です。清掃手順や方法は各現場もしくは各社によって異なります。ここでは、基本的な流れを説明します（※洋式トイレ）

～その前に～

【洗剤の選定】

酸性等の強い洗剤は、金属を劣化させる可能性があるのでできる限り使用は避けて、中性洗剤や弱アルカリ性洗剤を使用しましょう！

2度拭きの不要のレモングリーン DD やハイプロックス アクセル、クアットスタット5 などの使用がオススメ

※除菌効果も含んだ洗剤が特に有効です

また、汚れがひどい場合は、週1回程度酸性洗剤（トイレクリーナー等）を使用して下さい

【道具の選定】

・人の手が触れる面(清潔箇所)→ 青クロス
・人の手が触れない部分(不潔箇所)→ 赤クロス
・洗面台などの水回り→ 黄色もしくは緑クロス
～色分けによるゾーニング～

・床面 → モップ、ほうき、ちり取り or ハンディクリーナー
・上部 → フラワークリーン(はたき)
・洗面台 → スポンジ、歯ブラシ

① 作業表示板を立てる



利用者の妨げにならない場所に置く

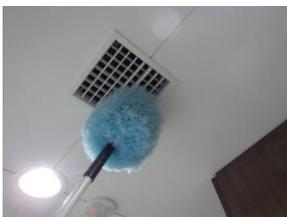
② ペーパー類等の消耗品補充



三角折りはしない(現場によります)

ペーパータオルやトイレトーパー、石鹼やアルコール等の消耗品を補充

③ はたき(フラワークリーン等)での上部除塵



静電気を発生させて、ヘッドを回転させる事でほこりが吸着(換気口、仕切り版の上部など)

④ 床面のほこり取り(ほうき もしくは ハンディクリーナー)



奥から入口に向かって掃き進め、ゴミを集める

⑤ ゴミ回収



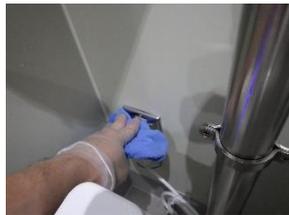
紙ごみや汚物を回収

⑥洗面台の洗浄



- ・スポンジで洗面ボウル内、蛇口等を洗浄 ※蛇口や鏡はスポンジの固い面を使用しない(研磨剤の影響で傷がつくため)
- ・排水口やオーバーフローなどは歯ブラシを使用
- ・洗面ボウル内の残っている水をふき取る
- ・鏡も拭き上げ(ガラスダスターがあれば尚よし)

⑦便器清掃



- ・便器の人の手が触れる面の拭き上げ(青クロス)
- ・便座の表などの人の手の触れる面が汚れている場合は、赤クロスもしくはトイレトペーパーで汚れを除去する ※クロスが汚れたら違う面を使用するか、新しいクロスを使用して下さい
- ・便器後ろのコンセント部のほこりとり
- ・便器の陶器内は洗剤を使用して、トイレブラシで便器のふち裏から排水口奥まで洗浄し、水で流す
- ・人の手の触れない面の便座奥、便器の陶器を拭き上げ(赤クロス) ※モップで届かない床面も拭き上げ

⑧壁や取っ手等の拭き上げ



青マイクロファイバークロスで拭き上げ

⑨床面清掃



マイクロモップをかける
※奥から入口へ

⑩点検(チェック表記入)



拭き残しや忘れ物がないか確認

エアタオル



洗面台洗浄時に清掃
(ドレン水処理含む)

常設現場は、清掃が必須

■定期的に清掃が必要な箇所■



ウォシュレットノズル
[感染症対策]



フィルター
[防臭対策]



コンセント
[トラッキング火災防止]

※便座も外せるタイプの便器は、定期的に外して清掃して下さい



トイレを見ればその会社の勢いはわかるといわれるほど、トイレ内の環境は、企業のイメージや社員のモチベーション面に影響を与えますので、衛生面や作業効率を考慮して、しっかりと清掃しましょう！

従業員のみ閲覧可